

平成30年度取り組みに向けた区政会議意見まとめ
(魅力あるまちをつくろう！部会)

送付資料4

No.	項目	日時	意見	30年度
1	担い手・地域力	6/29	見守り・青パトも高齢化、うまく世代交代するシステムが必要。折角の取り組みが自然消滅したらもったいない。	
2		6/29	つながりがあれば声をかけられる。まずは挨拶から。見守りをしている大人と子どもが会話をすることでつながるきっかけになる。	
3		6/29	自分の世界を持ち地域から離れる20～30代へのアプローチ、家庭を持ち地域に帰ってくる30代をまちにつなげるシステム化、イベントがあれば、声かけがしやすい。	
4		6/29	こども110番は、認識が低くなっている。町会が把握に回り、こどもたちに伝えることが課題。隣近所の顔が見えるところにつながり、子育て・防犯面でも重要。	
5		6/29	住んでいる人は日中働きに出ていない。働きに来ている人を地域に結びつけないか。北区等では企業が地域と組んで見守りをしている。今までの町会の枠組みから広げては。	
6		6/29	工場や商店街が多い地域と、団地等が多い地域など、地域で特色が違う。町会の力も様々。その地域に合った取り組みをしていくこと。世代・事情が違っても交流・つながりをつくらないと、もうそこで終わってしまう。地域の特性に応じた区役所の細かい支援が必要。	
7		6/29	町会に入っている人にしかその特典が見えない。活動などの情報も伝わらない。活発化するには、重要性や会費でどういう事業をしているかの周知が必要。	
8	情報発信	6/29	ホームページもSNSも見ているのは地域の特定の人、既に地域に入っている人であることが多い。広くというのはなかなか難しい。	
9		6/29	こども食堂や学習支援が必要な人にどうやって自然に興味をもち気軽に参加してもらえるか。きっかけづくりが必要。伝えたい人にどう情報を広げていっていいのか。	
10	連携	5/23	「自助・共助」「向こう三軒両隣」のためにコミュニティづくりの見直しが必要。団体・企業と地域のニーズを結びつける深くつなげるような事業や事例共有をしてほしい。	
11	わにいき	昨年	子どもが元気なまち・情報発信できるイベント・区民まつりの活性化・いつでもどこ（いつでもどこでも）元気東淀川∞（エンドレス）フェス	
12	魅力	6/29	自然の中で遊べる河川公園の強化。公園整備、歩道橋や信号設置などのアクセス向上、大きなイベントなどソフト面も必要。淀川に行きやすくし子どもが集う場にするため道路の整備や信号など足りない部分を洗い出す。	
13		6/29	緑化整備。開発中の高架下に緑化公園をつくるなど。	
14		6/29	年配の方もこどもも元気なまち。安全な遊び場として学校開放。コンビニの活用。	
15		6/29	夢の公園・夢の淀川など、こどもからアイデアを集める。	
16		6/29	こどもが楽しめる大きなイベント。B級グルメなど。	
17		6/29	犯罪の減少。特に多い女性犯罪の減少。	
18		6/29	道を整備し散歩しやすくして、椅子を置き、皆が外に出ていくようなまち。バリアフリー。	
19	居場所	6/29	居場所がない子などにいかに来てもらうか。特別扱いというか変にテーマを出さず、その子らがおもしろそうと自然に興味を持ち、気軽に来れる場所をつくってあげたい。そのきっかけづくりが必要。いいアイデアがあれば。	

平成30年度取り組みに向けた区政会議意見まとめ
(健康・福祉部会)

No.	項目	日時	意見	30年度
1	担い手	6/15	地域で核となり活動している人の次の世代の人をたくさん探し育成することが課題。輪を広げ人間関係つなげる。長い時間をかけての取り組みが必要。	
2		6/15	40～60代の世代が地域のネットワークを担うべき。危機感を伝え参加してもらおう。	
3		6/15	女性はすぐにコミュニティが作れる。ママ友などのネットワークから地域に入って支援ネットワークになる流れができればいい。男性は難しい。声をかける等のきっかけが必要。地道な勧誘。「親父の会」「腕相撲大会」など身一つで入りやすく盛り上がるができないか。	
4		6/15	時間のある人は地域活動することでコミュニティができるだけでなく自身の健康づくりにもなる。	
5		6/15	市が実施する新しい総合事業（介護予防）担い手研修は、日程場所などもっと受けやすくして敷居を下げてほしい。	
6		6/15	2つの大学で研修ができ単位が取れるようなことができれば、大学生のアルバイトの選択肢になるのでは。地域の子ども食堂などにも関与してほしい。	
7		6/15	福祉は依存してしまいがち。防災は自分の身を守るためなので、自分のこととして響く。それを糸口に接点にできないか。	
8	地域	5/18	地活協では毎年の行事を何とかこなしていくのが精一杯。福祉の話を協議する場もない。地域では見守りも素人。メンバーの欠席など初歩のことからしている。	
9		5/18	子どもの見守り活動や青パトなど個々の取り組みはこなせているが、つながりが薄い。地活協・地域組織として地域内の横の連携する必要がある。地域と事業者(介護・福祉系)を結びつける取組みも必要。まずは顔をつなぐことで連携でき相談しやすくなる。	
10		6/15	何でも地域包括支援センターがするという方向になっているが、24時間体制が続き、このままではもたない。行政もバックアップや一緒にここまでするというところを見せてほしい。地域だけ・行政だけで頑張ってもだめ。	
11		6/15	家賃補助や町会加入者を優遇など、若い人が東淀川区に来たいと思い、地域に繋がれるシステムづくりが重要。	
12	相談窓口	6/15	行政相談をもっと身近にしてほしい。	
13		6/15	昔は伝言板があったように、困りごとや助けられることを伝え合うボードやコミュニケーションツールができないか。人が集まる商店街に椅子を置いて何でも相談できるようにしては。	
14		6/15	自分で窓口に相談できない孤立している方・ひきこもりの方をどう地域で把握し対応していくか。	
15		6/15	行政が相談員などを雇って担い手を確保することに予算を。	
16	認知症	6/15	認知症予防に関する関心が高まっている。家族の負担も大きい。認知症予防できる取り組みがあれば百歳体操のように流行るのでは。健康寿命を延ばすためにもいい。症状が出る前に地域につなげることができればいい。	

No.	項目	日時	意見	30年度
17	情報発信	6/15	高齢者にわかりやすい等身大の高齢者の気持ちに合わせた伝え方。歌やロゴで伝えれば響きやすいのでは。宣伝の仕方・アウトプットの仕方など考えていく必要。	
18		6/15	東淀川区は、生活困窮者自立支援や今年度からの複合課題支援体制など、様々な福祉施策をモデル事業として先駆けて行い、全市展開につなげている。いきいき百歳体操も大阪市で2番目に多い。そういう点をもっとアピールしては。	
19	その他	6/15	ひきこもりの高齢者を外出させても活動できる場所が少ない。	
20		6/15	子どもの受動喫煙が多いのでは。喫煙マナーやモラルの啓発が必要。	
21		6/15	今後福祉分野は深刻な状況になり空き家も増える。地域に任せるのであれば行政が報酬を払うべき。ポットで存否確認できる時代であり、機械管理を充実したり、いざというとき行政が入り込める法整備など、制度設計からの見直しが必要。情報共有も重要。区民に届いていない。	

平成30年度取り組みに向けた区政会議意見まとめ
(防犯・防災部会)

No.	項目	日時	意見	30年度
1	担い手・地域力	6/20	ワンルームや学生が多く、隣同士知らない状態が増えた。昔のような、まち地域の結びつき、皆が見守り、このまちは皆つながっているとすれば犯罪者も近づかない。清掃などをはじめとして近所のつながりのある姿があればいい。こどもや女性を狙った犯罪なども減る。	
2		6/20	正義感を持った若い人はたくさんいる。防犯関係・青少年指導員について知ったら入りたいという人もいる。「ボランティア活動が損」じゃなくて、メリットがあると伝え、参加しやすいようにする。	
3		6/20	町会に入っていない人たちには回覧板が回らないので地域活動を知らない。頑張っている町会では、新しい家ができればチラシで回って説明する。7割は即日加入してくれる。そのときに動かないとだめ。	
4		6/20	地活協を充実させ横のつながりを広げ、まちづくりの中に活かされるようにするべき。全ての人が入っているというシステムを折角つくったのに皆知らない。医師会とかも入っておりもっと大きな組織になる。それを区民に発信すれば、つながりができてくるのでは。	
5		7/13	ボランティアする人と見るだけの人で両極端。中間のつなぐ人が必要。行政や町会がすると「自分は関係ない」となる。清掃も落書き消しも自分の周りは自分で綺麗にする認識を。誰かがやるだろうではだめ。	
6		7/13	東淀川区に住む人全てがまちの清掃する「美化の日」を呼びかけたら、連合も企業も取組みやすい。普段接点なくてもつながりができるのでは。	
7	人材	6/20	若い人材不足。人材の固定化（担い手・訓練参加者）。高齢化し5年後はより深刻な問題。訓練等に関心ない多くの方・若い人の防災意識の向上が必要	
8	連携	6/20 7/13	地域と小中学校はもちろん、区内大学・高校・企業・商店街・寺院・福祉施設等とのエリア間すべてとの連携。合同訓練するなど。声かけすれば協力してもらえるのでは。行政にも連携してもらえばより連携しやすい。地活も町会も取っ払って、普段から理解・交流が必要。一つでも事例ができればメリットなどをチラシで作成し広げていけないか。大経大は地域と共有できメインの拠点になる。区一斉訓練などをすれば商店街・企業も参加しやすいのでは。	
9		7/13	企業は利潤を求めるので、どんな協力を依頼をすればいいか区役所で勉強会できないか。周知し普段から話し合うことが大事。	
10		7/13	(まとめ) 各地域の各団体を防災事業で結び、さらに隣接地に広げる。地域ごとの連携により、エリアすなわち防災力の向上を図る。	
11		7/13	防犯協会も会員数が年々減っている。企業の力を借りて一緒に防犯活動ができないか。地域貢献として、してもらえれば社員も取り組みやすい。だが会員企業側のメリットがないと難しい。つなぐのに区役所の力は大きい。	
12		7/13	青パトは区内全域走行できる。他の地域を回りあいすれば抑止効果が倍になる。負担も半分になる。区役所にしか呼びかけできない。事業としてできないか。	
13	周知啓発	6/20	避難場所の周知・啓発（その時居る場所の近くに行く） 有効な避難経路の周知（倒壊危険箇所の合同点検など経路の検証が必要） 避難した後の生活（夏休みに一泊研修） 意識向上（有識者による講演より皆で防災を話し合うワークショップ等） 訓練の周知・内容周知で関心を高める。	
14		6/20	避難場所をスマホで自動配信。なお、様々な団体がSNSをしているが、地域で一つにまとめるべき。クリックすればその地域の区・地活の役割が出てくるようにすればわかりやすい。日中会えない人もSNSでつながれるのでは。	

No.	項目	日時	意見	30年度
15	備蓄	6/20	備蓄を増やすことが必要。企業から備蓄物の協賛をもらう。防災用品購入は町会ごとに予算を（区役所支援も）。	
16	地域力による抑止	6/20	今年放火が相次いでいる。ごみを燃やされることを防ぐため、町会単位で清掃を。近くに町会がない公園は荒れている。清掃する人が増えつながりをつくるのが犯罪防止につながる。	
17		6/20	放火や女性が狙われるのは暗い時間帯・暗い場所。真っ暗な所を作らない。夜、防犯灯や玄関先の明かりでまちを照らして犯罪の抑止につなげては。町会は防犯灯切れているなど回ってチェックしている。地域の人と日頃話し合い、意識を高める。	
18	意識啓発	6/20	自己防衛の啓発。暗い所を通らない、ブザーを持つなど。地域も犯罪が起きたことを隠すのではなく、危険な地域を地図に落とし、灯りや防犯カメラをつけたり、犬の散歩道にしてもらって皆で気をつけるなど、対策につなげる。	
19		5/12	高齢者が集まるところで特殊詐欺等に関する映像などの啓発ができれば。（各地域集会所には啓発DVDを昨年配布）	
20	自転車	6/20	自転車の走行マナー・放置の問題。自転車は自動車よりもマナーの認識が薄い。	

平成30年度取り組みに向けた区政会議意見まとめ
(教育・子育て部会)

NO	分類	日時	意見	30年度	
1	いこもとおとなが互いに元気になるまちづくり	地域のつながり	6/23	人が集まって顔見知りになれば、そこから信頼関係が広がる。	
2			6/23	学校だけでなく地域に根差して近所の人たちがみるのがやはり一番だが、現状地域が機能できていない。地域の意識改革や区役所による改善をしてほしい。	
3			6/23	シルバーパワーを向けたい。皆エネルギーある。居場所で老人クラブの方にあやとりを教えてもらうなど。教えるほうも教えてもらったほうもいきいきとする。	
4			6/23	昔は公園で学年を超えて集団で遊び、人間関係など学んだが、今はせいぜい同じ学年の、狭い人間関係しかない。	
5	居場所	4/21	こどもが一番集まりやすいのはこども食堂。お腹が減っていると勉強ができないし、体力もつかない。		
6		4/21 6/23	ご飯は難しくても、こども食堂に固執せず、まずは居場所をつくる。こどもたちが安心でき、保護者と一緒に来られて楽しめる、暖かい居場所づくりが大事。		
7		6/23	ただご飯を食べ、勉強をするだけの場では集まらない。イベント性があれば参加者が広がる。できることのメニューは多いほうがいい。食べるとか体動かす等。		
8		6/23	地域差はあると思うが将来は全小学校下にあるといい。難しい地域でもできるように支援を進めてほしい。		
9	こどもの夢と希望を育むまちづくり	自尊心向上①夢	4/21 6/23	夢のない子が増えた。何のために勉強するのか。それを教えてあげること。勉強以外にも身につけるべき能力がある。	
10			4/21 6/23	トップアスリートなどの話を聞いたり交流しては。話を聞いた後のこどもたちはきらきら度が違う。頑張ればこういう人になれるかもと目標になったり、夢をもち頑張るきっかけになる。好きなことなら一生懸命する。そんなすごい講師を区民ホールに呼んで学習会をしたらどうか。同じ学校のOBの有名人など身近で成功している人もいい。	
11			4/21	勉強がおもしろくなるきっかけづくりができれば成績の向上につながる。テスト前などに「テストでいい点取ろう学習会」をテスト前に行ってはどうか。学校で1学期に学んだことから出題されるクイズ大会をしても面白い。	
12	「共育」のまちづくり	自尊心向上②	6/23	こどもたちそれぞれが自尊感情を持てるような環境づくり。その子の状況を全部把握したうえで個別に対応できるのが理想。その子の楽しいこと・頑張れることを見出してあげられるといい。大人も夢を持っておかないと子供に伝えられない。	
13			4/21	これまでは問題のある子について議論してきたが、普通の子に対しても支援の目を向けるべき。	
14	「共育」のまちづくり	家庭	6/23	家庭が根本で一番大事。家庭内の人数が減り孤立が進む。こどもはお母さんが一番だが、おじいちゃんおばあちゃんとのななめの関係など幅広い人間関係があればいい。家庭教育の見直しも必要。大人を変えるのは難しいため、親にでなくこどもに家庭が大事ということを教育することも必要。その子が親になるまで何十年もかかるが。	
15		スポーツ	6/23	スポーツができるようになると自信になる。そこから輪が広がる。ニュースポーツ大会や体験会をしては。	
16			6/23	遊び場の確保は、学校開放するなど、学校や役所が緩衝材になってほしい。	
17	運営方針	保育	6/23	未入所児童が増える中、保育所の増設で解消につながるのか。保育施設へ開所時間を延ばすなどの依頼取り組みをした結果の実績や年齢別の定員枠・希望者数の経年変化など、もう少し細かい検証を行っては。	
18			6/23	毎年一時保育の利用者数が上がらない。対象の方だけでなく、年齢層の高い方なども含め地域全体に広報しクチコミで広げてはどうか。	